

～元気の出るエピソード～

私たち、地域医療相談室は、認知症のことであればどんなことでもご相談にのらせていただきます。認知症専門病院がもっている資源を最大限生かしてお困りごとに対し、解決へ向けて共に考えていくことを目標としています。その中でご入院された患者様についてのエピソードをお伝えさせていただきます。

当院に約1年間ご入院され、その間精神的安定と身体能力の向上がみられ、入院時には車椅子でお過ごされた移動能力が、ゆくりでありながらも自身で歩行できるようになられ、施設へご退院されました。3ヶ月経ったある日、ご家族より施設での生活の中で不穏な状態がみられるようになってきて、施設での生活が難しくなっていることについて、とても困惑し、ご相談のご連絡をいただきました。その後、当院に再度ご入院していただき、治療させていただきました。その際、ご家族より「すごく安心しました」と安堵の表情を浮かべながら仰っていただきました。

本来はご退院先で穏やかに長くお過ごしいただけることが何よりなのですが、「もしまたご病状が悪くなったら、、、」と不安に感じながらご退院されるご家族も少なくありません。そのような時、「いつでも何かお困りのことがありましたら些細なことでもお気軽にご相談してください」とお伝えしております。

私たちは、ご本人、ご家族に安心していただけるよう、必要な医療、介護サービスへつなぐ役割であると思っています。これからも多くの方々にそのお手伝いができるよう日々努力していきたいと思っております。

地域医療相談室 稲橋秀樹

診もり短歌

施設へと退院の老いと巣立つ燕
施設へと退院してゆく老い送る
つばめの巣立ち日 梅雨空の下
Dr ねぎし

医療法人社団 心の絆

認知症専門病院 蓮田よつば病院

携帯からも当院のホームページにアクセスできます→



私たちは、大切な人に自信をもってすすめられる病院をつくりたい

よつば通信 6月号

発行日 令和2年6月1日

訪問看護リハビリステーションの新型コロナウイルス感染拡大予防策

緊急事態宣言から約2カ月。皆様には様々なご心配やご不便、ご苦労があるかと思えます。日々ご利用者様の自宅に訪問している訪問看護の感染対策を紹介したいと思います。

☆スタッフ間での感染予防対策として自宅から直行直帰
☆スタッフは1日2回検温し、体調チェック
☆申し送り等はオンライン通話
☆すべてのご利用者様に対してマスク、手袋、フェイスシールド着用とする（認知症の方などは恐怖を感じる方もいらっしゃるため除外する場合もあります）

マスクをするだけで多量の汗をかき、フェイスシールド等をさらに付けることでスタッフ自身が脱水になるのではと心配もあります。スタッフはもちろん、ご利用者様などに陽性者は出ておらずありがたい事だと思っております。人との接触8割減、不要不急の外出自粛3密を避け、5月25日より緊急事態宣言が解除となり、これからは新たな生活様式を考えていかなければいけない時代になります。

引き続き感染対策を続けご利用者様に安心してお過ごし頂けるよう努力していきたいと思えます。

『くれぐれもマスクによる熱中症にも注意しながらみなさんも手洗い、マスク着用を徹底していきましょう』



よつば訪問看護

リハビリステーション

所長 藤代真弓

病院方針

- ・身体拘束は原則おこないません
- ・薬物は適正に使用します
- ・言語的抑制を最小限にします
- ・地域と共に考え貢献します

～初めて外来を受診される方～
お電話での予約が必要になります

- ・紹介状
 - ・お薬手帳をご持参ください。
- 予約時間の変更等につきましては、13時以降に外来にお電話下さい
○休診日○
土曜・日曜・祝日は休診になります

外来案内

| 診療科目 | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|-----------------|----|----|------------|----|---------------|----|
| 午前 認知症 外来 | 鈴木 | 安西 | 安西 | 鈴木 | 鈴木・安西 (隔週) | 休診 |
| | 根岸 | | 一木(6/24のみ) | | | |
| 一般 内科 | 白濱 | | 白濱 | | | |
| 午後(新患のみ) | | 鈴木 | | 安西 | | 休診 |

| 受付時間 | | 診療時間 | | 面会時間 |
|------------|-------------|------------|-------------|-------------|
| 午前 | 午後 | 午前 | 午後 | 午後 |
| 8:45~11:30 | 13:00~15:00 | 9:00~12:00 | 14:00~17:00 | 14:00~17:00 |

蓮田よつば病院 当院は認知症専門の病院です
〒349-0114 埼玉県蓮田市馬込2163番地
電話:048-765-7777

医療法人社団 心の絆
よつば訪問看護リハビリステーション
電話:048-796-5157

蓮田よつば病院
ディケアわかば

蓮田市 毎月第一土曜日
認知症カフェ
はすカフェ
蓮田よつば病院 1Fフロアにて実施

地域医療相談室からのお知らせ

新型コロナウイルスの感染拡大も終息の方向へ進み、緊急事態宣言も解除となりました。この間、私たち相談員は隔日勤務という形で対応させていただき、大変ご迷惑をおかけいたしました。6月より通常勤務に戻りますが、今までと同じということではなく、この新型コロナウイルスの感染拡大から教訓を得て、「withコロナ」を常に意識しながら新しい形での業務を考えていかなければなりません。第2波、第3波を予測しながらの対応が求められていると考えております。その中で緊急事態宣言の解除に伴い、徐々にご面会を行える体制を整えていくこととなりました。○直接ご来院していただいていたのご面会(ビニール越しではありませんが)○アプリを使用してのテレビ電話でのご面会
土日限定でお時間も限りがあり、ご予約をお取りいただくこととなります。申し込みは相談員または看護部にてご予約を賜っております。
今後も皆様にご安心していただけるような取り組みを検討、導入してまいりたいと存じます。皆様のご理解・ご協力の程、何卒よろしくお願い申し上げます。
QOL推進部部长 稲橋秀樹



看護部の取り組み

看護研究発表

テーマ：入院加療による寝たきりから復活への3ヶ月の取り組み

2階病棟 島田裕美 高林智恵子 塩崎千佳 渡辺みどり
細谷江里 小林洋史 折原美佐子

<はじめに>

H氏は、自宅やデイケアで過ごされていたが、脱水による意識レベルの低下、食欲不振の為他院に1ヶ月余りの入院。経口摂取可能に迄に回復した。日中に閉眼したまま傾眠している事が多く、食事介助による手払い拒否、食べ物の吐き飛ばし、テーブルを断続的に叩く動作が見られ、介護抵抗と食思不振の為入院された。家族は、立つこと、食べることができるようになってほしい。働きづめだったのでゆっくり暮らしてほしいと希望された。私たちは、そのような摂食困難や常同行動がなぜ生じているのかを、関りを通し中核症状と行動心理症状(BPSD)の分析をした。ご本人の意思の尊重を基本に環境作りとケアを実践した。

<実践経過>

○食事に関して

口に入れた食事を遠くへ勢いよく吐き出す行動が続いた。家族に好みのあんぱんの持ち込みをお願いした。あんぱんを手に取り食べる姿がみられた。スプーンを持つとしないため、ジェスチャーでスプーンと小鉢を持ち、口へ運ぶ一連の動作を示した。小皿にとりわけ手に持たせ、空になればそっと追加する。器を持ち替えてもらうことで少しずつ食事量が増えていった。表情陰しく口を閉じ、器を投げる行動がみられた時は少し時間をおき、再度食器を持ってもらうことで食べ始めがみられた。問いに少しずつ頷きや「いらぬ。」という単発の発語が聞かれるようになった。徐々に完食できる日が増えていった。内服の吐き出しは常にみられ、必要性を医師と相談し中止とした。点滴のサーフロ針交換時の抵抗強く、点滴も中止した。

○テーブル叩き、イス叩き、ベッド柵叩きに関して

叩く動作がみられた際、「トイレへ行きますか?」「少しベッドで休みますか?」の声掛けに、頷きや「はい」という言葉が聞かれるようになった。車イスからイスに座り、姿勢が崩れるとテーブルやイスの取っ手を叩いていた。必要に応じ車イスやリクライニングチェアを使い分けることで姿勢の保持ができ、フロアで過ごす時間が増えた。声掛けに「はい。」と返事が聞かれた。「おはよう」の言葉も聞かれた。次第に深夜の柵叩きは減少し、良眠できる日が増えていった。

○歩行と排泄に関して

筋力低下と側弯があり、両脇を抱える形でトイレへの歩行を試みた。少しずつ距離を伸ばし、サークル歩行練習も行った。退院時にはスタッフが軽く手を添えるだけの手引き歩行ができるようになった。オムツからリハビリパンツとパットの着用に変更した。日中、入眠前、起床時、トイレ誘導にて自尿がみられるようになった。

○環境に関して

多動の患者に対し、表情陰しくテーブルを叩く姿が多く見られた。周囲が気になるような際は、H氏と生活機能訓練室で過ごし、音楽を流すことで表情は落ち着き、叩く行為はおさまった。

<考察>

野原氏は、『認知機能の低下に伴って、自身で色々なことが出来なくなると不満や不安が高じて介護者からの働きかけを拒否し抵抗することがある。特にプライドが傷つけられるようなことがあると介護者への信頼をなくしてしまい、行動心理症状が現れる事が多い』と述べている。

H氏は若くにご主人を亡くし働きづめであった。頑固な性格という情報から、自身で摂取できるという気持ちがあるのにH氏にあるのにも関わらず、食事を摂取しないからと介助されることに強い抵抗感があったのではないだろうか。

引用文献

野原 幹司著 『認知症患者さんの病態別食支援』 (株)メディカ出版



～よつば訪問看護リハビリステーション～

介護保険サービスについて

今回は介護保険サービスについてご紹介させていただきます。今後日本の総人口が減少していくにつれ、高齢者の占める割合は増加していき、介護サービスを利用する高齢者が増えていくと思います。そこで、介護保険サービスの体系についてご紹介します。

介護保険制度の被保険者は、65歳以上の者、40～64歳の医療保険加入者となっています。

介護保険サービスは、65歳以上の者は原因を問わず要支援・要介護状態となったとき、40～64歳の者は末期がんや関節リウマチ等の老化による病気が原因で要支援・要介護になった場合に、受けることができます。

介護保険のサービスは主に5つあります。

- ・訪問系サービス 訪問介護・訪問看護・訪問入浴介護・居宅介護支援等
- ・通所系サービス 通所介護・通所リハビリステーション等
- ・短期滞在系サービス 短期入所生活介護等
- ・居住系サービス 特定施設入居者生活介護・認知症共同生活介護等
- ・入所系サービス 介護老人福祉施設・介護老人保健施設等

介護度により受けることができるサービスが異なります。また、月々の介護サービス費の自己負担額が世帯合計(個人)で上限額を超えた場合に、その超えた分が払い戻される高額介護(介護予防)サービス費もあります。このように介護保険で受けられるサービスは様々です。費用負担などで疑問があればお問い合わせください。

訪問看護リハビリステーション事務 板井真実

～よつば病院作業療法風景～

コーヒー療法



作業活動



今月の予定

- 誕生会 各病棟
2階、3階随時おこないます
- 喫茶 6月27日、6月28日

感染症対策のため一部行事を中止させていただきます。ご了承ください。



～よつばご飯～



※写真は職員食になります

献立
 主食：筍ご飯
 主菜：カツオフライ
 副菜：春キャベツの木の芽和え
 副菜：鶏とじゃが芋の煮物
 汁：味噌汁

栄養価
 エネルギー：606kcal
 たんぱく質：24.8g
 脂質：15.8g 塩分：4.1g
 ※行事食につき、栄養科は若干高めになっております

5月のこどもの日の行事食は、嗅覚に刺激が与えられるよう、筍や木の芽といった香り高い旬の食材を使った献立に仕上げています。認知症の患者様は匂いを感じる機能が弱くなると言われておりますので、香り高い食材を使用して嗅覚への刺激を促し、その刺激が認知症の治療に繋がればと考えています。また、食事の匂いを感じるといことは時間を感じる事にもなり、そして食欲を増幅する事にもなり、様々な刺激へと発展していくと考えます。

管理栄養士 水野俊